

麻生区で実施
の実績がある

「ともに生きる」を考える あさおのふくし 福祉教育 実施プログラム例 一覧

平成31年4月発行

A 体験してみよう

①車いす体験	車いすの操作を学ぶこと、また、車いすへ乗ってみることにより、車いす利用者の気持ちやバリアフリーについて知ることができます。
②高齢者疑似体験	高齢者疑似体験セットを使用し、疑似体験を行うことにより、日常の暮らしの中での高齢者への配慮について知ることができます。
③ガイドヘルパー体験 (アイマスク体験)	視覚障害者役の方と一緒に歩くことにより、どのようなサポートが必要で、困ることが何かを知ることができます。また、障害者役と介助役両方を体験することで、相手を思いやる気持ちを養うことができます。
④点字体験	簡易点字板を実際に使い、点字に触れることで視覚障害への理解を深めることができます。また、様々なところで使われている点字の意味に気づくことができます。
⑤手話体験	手話を学ぶことにより、聴覚障害者への理解を深めることができます。また、手話以外にも様々なコミュニケーションをとれる方法を知り、相手を理解する方法が一つではないことを学びます。
⑥妊婦体験、 赤ちゃんふれあい体験	生命の尊さや大切さを感じ、小さな命を思いやること、家族の愛情や願いについて考えることができます。本会には妊婦体験セットと新生児抱き人形があります。

貸出機材 車いす(台数は応相談)、高齢者疑似体験セット(～10セット)、アイマスク(～50枚)
白杖(～6本)、妊婦体験セット・新生児人形(～2セット)、点字板(～40個)

B 当事者から話を聞こう

①視覚障害者	視覚障害者の方から、生活する上で不便なことをどのような工夫で解消しているか、また白杖や点字のことなどについて話してもらいます。
②聴覚障害者	聴覚障害者の方から、生活の中で困ることや周囲の方に知ってほしいことを話してもらいます。あいさつなどの簡単な手話体験と一緒に行うことが多いです。
③身体障害者	主に車いすで生活をしている方から話してもらいます。生活する上で工夫していることや、ともに生きるために知ってほしいことなどを話します。
④精神障害者	心の病とはどのようなものか?「精神疾患」というだけで誤解や差別の対象になりやすく、社会参加が妨げられがちです。どのようなサポートが必要なのか支援者、当事者に話してもらいます。
⑤知的障害者	複雑な事柄や文章・会話が不得手だったり、未経験の出来事や急な状況の変化への対応が難しい方もいます。障害を理解しながら、どのようなサポートが必要なのか支援者、当事者に話してもらいます。
⑥認知症当事者	認知症といっても症状は人によって様々です。日々の暮らしについて当事者やその家族に話してもらいます。

C 福祉施設に行ってみよう

①高齢者施設	特別養護老人ホームや認知症のグループホームなど区内の高齢者施設を訪問し、利用者と交流したり施設の役割を学びます。
②障害者施設	区内には障害者の入所施設やグループホームなどの生活する場所から、リハビリテーションを専門に行う施設、日中活動を提供している施設などがあります。
③児童養護施設	様々な理由により家庭で養育を受けることができない児童を養育する施設です。

D 交流してみよう

①保育園、幼稚園	乳幼児期の子どもが過ごしていますが、高校生や大学生の実習やボランティアを受け入れている園もあります。
②老人いこいの家	高齢者の交流や地域づくりの拠点となる福祉施設です。60歳以上の方を対象としています。
③特別支援学校	障害がある児童・生徒が通う学校です。養護学校・盲学校・聾学校の3つを合わせて特別支援学校と呼び、麻生区内には県立の養護学校（知的障害・肢体不自由）があります。

E 福祉のボランティアって何？

①サロン、カフェ、会食会	主に地域の高齢者が集まって楽しく過ごしています。話し相手や会場やお茶の準備、ゲームや演奏などのレクリエーションなどを行います。
②高齢者関係	施設内で行われる折り紙や書道などの活動のお手伝い、季節の花壇の整備、ゲームの相手、散歩の付き添いなどを行います。
③障害者関係	ビーズや木工などの製品作成の準備や補助、買い物などの外出の付き添い、園芸・清掃活動、施設のイベントのお手伝いなどを行います。
④児童、青少年関係	子ども達の学習サポートや遊び相手、外出活動の付き添いや見守り、イベントの企画や準備などのお手伝いを行います。
⑤保育、子育て関係	子どもと一緒に遊んだり、着替えや食事の手伝い、絵本の読み聞かせ、保育園の環境整備や子育てサロンの会場準備をや見守りを行います。

※ここに示したのは、これまで麻生区内で行った実績のあるプログラムの一例です。この一覧に載っていない福祉教育のプログラムについても可能な限り調整しますので、ご相談ください。

※講師の方々や各施設はボランティアで行っております。日程や内容についての調整にはお時間がかかることもありますので、お早めに（目安は実施日の2ヶ月前）ご相談ください。

お問い合わせは

社会福祉法人 川崎市麻生区社会福祉協議会

電話：044-952-5500

FAX：044-952-1424

Eメール：info@asao-shakyo.com

麻生区社協

検索

ホームページは
こちらから→

